

地盤工学教育のこれから

我が国では2008年をピークに総人口が減少に転じており、人口減少時代を迎えています。今後より一層の人口減少が想定され、世の中のさまざまな業種・分野においてデジタルトランスフォーメーション（DX）への取り組みが始まっていることから、人々の価値観の変容は進んでいくと考えられます。時代に合わせて、地盤工学の技術者に求められることも変化しており、対応できる人材を育てることが重要です。人材という最も根本のリソースが減少していく中、未来を担う力をどのように育てていくのか、ということについて、多くの皆様が悩み日々奮闘されていることと思います。

本号では、「地盤工学教育のこれから」と題し、変革する時代に向けて、様々な立場における新たな教育の取り組みを紹介いたします。総説では、技術普及委員会でのオンラインイベントの試みを事例として、今後の地盤工学教育に求められる形について言及されています。3編の論説では、コロナ禍における大学教育の課題およびその解決に向けた取り組みや目指すべき将来像について論じられているほか、今後より一層の発展が期待される海洋地盤工学分野の教育の在り方について論じられています。4編の報告では、VR技術を現場施工や安全教育に活用している事例、一般市民に理解しにくい事象を目に見える実験を通じてわかりやすく教育している事例やコロナ禍に対応した遠隔での新しい実習の試みなど、まさにこれからの地盤工学教育の実践といえる内容が報告されています。

人口の減少や技術の進歩、コロナ禍という大きな時代の変化が発生している中で、多くの皆様が新しい取り組みにチャレンジされ、これからの地盤工学教育を模索しております。本特集が、読者諸氏にとって新たな興味・関心・気付きのきっかけとなり、皆様それぞれのお立場で時代の変革に対応する一助となることを期待しております。

(近江 健吾, 藤原 将真, 川野 健一, 鈴木 麻里子, 山添 誠隆, 和田 旭弘)

総説	ニューノーマルを踏まえた今後の地盤工学教育 技術普及委員会と各支部でのオンラインイベントの試み 浅田 素之	1
論説	大学課程「地盤工学」にかかわる最近のいくつかの課題 若井 明彦	5
論説	海洋を対象とした地盤工学の教育と研究 谷 和夫	13
論説	課題解決型学習の目的は課題設定力の開花 ニューノーマルな時代の地盤工学教育の試み 椋木 俊文	17

報告	ICT フル活用の現場コンテンツを活かした施工サポートと現場体験 池田 昇平／中村 洋丈／藏重 幹夫	23
報告	3D-VR を使用した法面作業・地盤改良作業の安全教育について 菊地 薫／佐藤 勝	27
報告	手を動かして学ぶ「ドボク模型」の勧め 藤井 俊逸	33
報告 (公募)	“遠隔実習教育” による地盤工学の学習支援 緒方 奨／中村 公亮／遠藤 和人／乾 徹／大嶺 聖／水野 克己	36
報告 (自由投稿)	盛土造成地盤の標準貫入試験による地盤工学的特性とその特徴 福島 伸二／香束 光秀／西本 浩司	40
報告 (自由投稿)	断裂交差点付近でのパイピングと堤防決壊 吉村 辰朗／森山 秀馬	45
	(担当 福永 勇介)	
寄稿	「石炭灰混合材料を地盤・土構造物に利用するための技術指針 (案)」の紹介 佐藤 研一	49
	(担当 檜垣 貫司)	
学会の動き	令和2年度地盤工学会賞受賞者の決定	51
	令和2年度「地盤工学会誌」優秀賞受賞者の決定	56
講座	宇宙探査と地盤工学 第3章 月・惑星地盤の成り立ち 大竹 真紀子／佐伯 和人／宮本 英昭	57
	(担当 小野 耕平)	
会告	第63回通常総会開催案内 (公社) 地盤工学会	66
	公募中の特集記事および今後の特集・講座の予定 (公社) 地盤工学会 「地盤工学会誌」編集委員会	67